

砂川市立病院の患者サービステキについて

新風会

水島美喜子

問 砂川市立病院は、外来患者数1日約1千人を受け入れています。全国的に医師、看護師不足が問題になっていますが市立病院の医療スタッフ確保の現状と方策について伺います。

答 当院は急性期の基幹病院として診療体制の充実を図ってきました。医療の施設基準に見合った人員を配置し、現在は、医師85名、看護職433名、医療技術職96名となっております。十分な配置となっていない部門もあり、今後も人員確保に努めます。医師については道内の3医科大学と連携を密にし協力を得ています。医学生に対しても施設概要、研修プログラムなど情報提供し臨床研修医の確保にも努めています。看護師については当院付属看護専門学校卒業生を確保、全道の看護専門学校生などを対象に募集、病院見学会を開催。院内保育所の設置などの職場環境整備や潜在看護師の発掘、復帰支援研修にも取り組んでいます。



問 待ち時間状況と対応について。本年6月の調査結果は平均1時間7分と待ち時間が延長した結果となりました。要因は、患者数の増加、諸検査の多様化によると考えられます。待ち時間については電子カルテの導入、ブロック受付の設置などにより流れをスムーズに行う対策を図っています。

答 また、ストレスとならないよう待ち時間を丁寧に説明することやアメニティの充実等多様化する患者サービステキに対応できるように併せて検討していかねければならないと考えています。

防犯灯のLED照明化への取組みについて

新風会

沢田 広志

問 町内会に設置されている防犯灯のLED照明へ交換に向けての取組み状況について。

答 これまでに、国、道の交付金補助金の状況把握、先進地視察、情報交換、町内会が維持管理している約1千500基の状況調査、LED防犯灯機器の性能等情報収集をしながら、関係部署との調整を進めてきました。現段階では国の予算が震災関連に配分されており、交付金、補助金の活用は難しいこと、交換できる水銀灯を全てLED照明へ交換した場合は、低いワット数で契約でき、町内会全体の維持費の年間負担額が約100万円軽減され、デメリットであった設置費用がLED照明の低価格化が進み、水銀灯とほぼ同額になり、視察により照度は十分確保されたことを確認しました。

このことから、平成24年度においては補助金等の目途がついた時点で全額市の負担で防犯灯のLED化を具体的に進めます。補助金

等の確保が難しい場合でも、平成25年度以降の早い時期に実施できるように検討します。

問 町内会や町内会連合会への対応について。

答 今年度内にLED防犯灯の設置の補助率及び上限額を嵩上げするための規則改正をして、防犯灯のLED照明化を推進するには各町内会との連携が不可欠であることから、早い時期に町内会連合会への事業説明と内容の協議を行い、各町内会へ周知し必要な時期に協議を行い、事業の円滑な推進を図ります。



空き家対策について

公明党
勲

問 現時点で市内には空き家が何件くらいあるのか。そのうち、倒壊の恐れのある危険な家屋が何件あるのか伺います。

答 現在件数など把握している空き家で危険なものは4件です。対応については所有者・管理者に文書で要請を続けており、平成17年からでも、長いもので3年、4年かかって解決しています。

問 町内会との連携について。

答 毎年行っています町内会連合会と市の懇談会において要望を受け、状況を確認し、所有者・管理者に文書と現況写真を添付し、防犯・防災上必要な措置を講じるよう要請しています。

問 行政指導に応じない場合には、氏名や連絡先を公表できるような条例の制定について伺います。

答 現時点で考えていないが、解体などを行う動機付けとなる取組みを検討しているところです。

高齢者等の施策について

問 地域包括支援センターが受けている相談内容と取組みについて伺います。

答 相談件も年々増えて、23年度は11月末で95件となっており相談内容も介護予防、在宅サービス、医療、健康、日常介護から施設入所など多岐で、高齢者やその家族を支える組織として定着している。

問 砂川市見守りガイドブックと24時間相談体制について。

答 高齢者が安心して暮らすための貴重な冊子であり24時間相談体制も検討していきます。



すながわの砂っふ

各々の議員が各行事に参加した時の写真を集めました。

出初式



北海道義士祭



新年交礼会



成人式



ジャリンバ初詣

